

## 【數位時代的台灣媒體藝術史 (I)】研究報告目錄

### 【一】預計大綱 (第 I/II 兩期全部)

### 【二】本期研究報告目錄

(一) 邁向數位時代的一般性藝術理論提案	15
(二) 國外案例比較研究	16
(二.1) 聲音藝術	16
(二.2) 威尼斯雙年展	20
(二.3) 巴黎市立現代美術館，時空敘事	24
(二.4) 柏林超媒體藝術節	35
(二.5) Avatar 與靈魂	39
(三) 台灣媒體藝術史	43
(三.1) 袁廣鳴之一	43
(三.2) 袁廣鳴之二	51
(三.3) 卡漫風	56
(三.4) 後民國	60
(三.5) 許哲瑜	62
(三.6) 超響	69
(三.7) 王鼎擘	71
(三.8) 湯皇珍、蔡明亮、袁廣鳴作品中的沈浸策略	73
(三.9) 災難與藝術	79
(三.10) 政治與藝術	82
(三.11) 跨域	86
(四) 反思：文化、媒介與創意	91